

くま小通信

第18号 令和6年2月26日
 名古屋市立熊の前小学校
 名古屋市中緑区亀が洞一丁目901番地
 TEL: 052-878-1600
<http://www.kumanomae-e.nagoya-c.ed.jp>



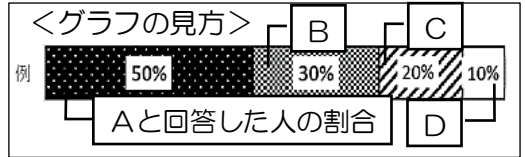
各記事と「学校教育目標」(第1号参照)の関連を、次のように文末に示しています。
 (1) 基礎基本を身に付け、自ら学ぶ力を備えた子の育成→【①自ら学ぶ力】 (2) 思いやりの心・社会の一員としての自覚を備えた子の育成→【②思いやり・社会性】
 (3) 生涯にわたって健康に過ごすための心身を備えた子の育成→【③心身の健康】

学校教育に関するアンケート結果報告

皆様にご協力いただいた「学校教育に関するアンケート」の結果についてご報告します。

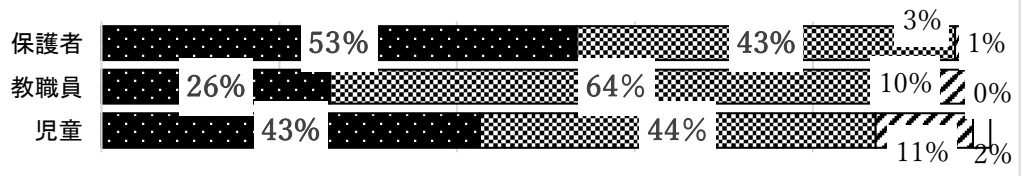
グラフ中の“%”は、4段階の回答の割合を示しています。また、“平均得点”は、A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、その平均を算出したものです。平均得点2.8(=4点満点の7割)以上を、「おおむね満足できる状況」、3.2(=4点満点の8割)以上を「十分に満足できる状況」と判断しました。

なお、教職員も、保護者アンケートと同様の10項目で自己評価を行いました。また、児童には1~5の5項目についてアンケートを実施しました。三者の結果を比較してご報告します。



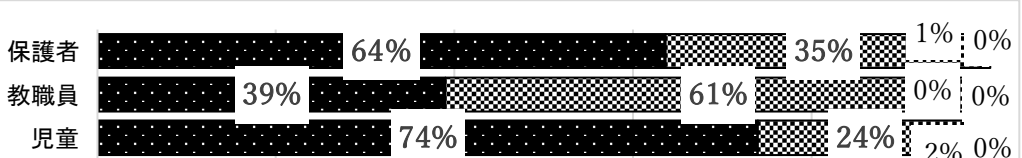
【問1：学校は、指導法を工夫したり、個に応じた学習支援（TT指導を含む）をしたりして、主体的に学ぶための授業作りに取り組んでいる。】

平均得点	保護者	3.5点
	教職員	3.2点
	児童	3.3点



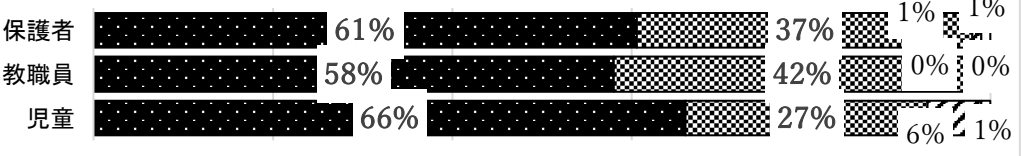
【問2：学校は、子ども同士が自分もみんなも大切に、楽しく活動できる場になっている。】

平均得点	保護者	3.6点
	教職員	3.4点
	児童	3.7点



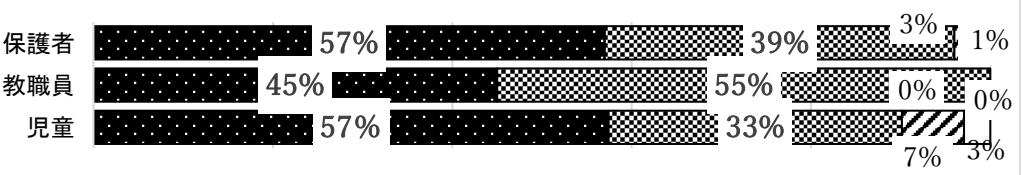
【問3：保健指導やメンタルヘルス指導（心の状態を把握するためのアンケートやそれを基にした指導）は適切に行われている。】

平均得点	保護者	3.6点
	教職員	3.6点
	児童	3.6点



【問4：学校は、グループワークトレーニング等を通して、子どもたちが学級を安心できる居場所と感じられるように取り組んでいる。】

平均得点	保護者	3.5点
	教職員	3.5点
	児童	3.5点



【問5：学校は、子どもをよく理解し、大切にしようと努めている。】

平均得点	保護者	3.6点
	教職員	3.5点
	児童	3.4点



【問6：学校は、子どもの安全を第一に考えて、防犯・緊急時の対応に積極的に取り組んでいる。】

平均得点	保護者	3.6点
	教職員	3.5点



【問7：学校は、子どもたちの様子を伝えるために家庭との連絡を適切に行っている。】

平均得点	保護者	3.5点
	教職員	3.5点



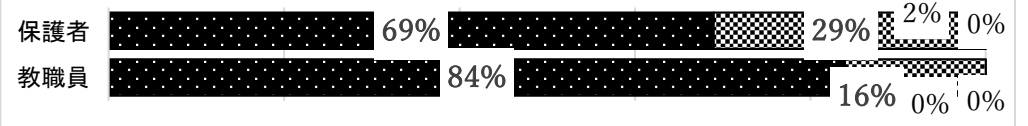
【問8：学校は、保護者の声に耳を傾け、よりよい学校にするために努めている。】

平均得点	保護者	3.5点
	教職員	3.5点



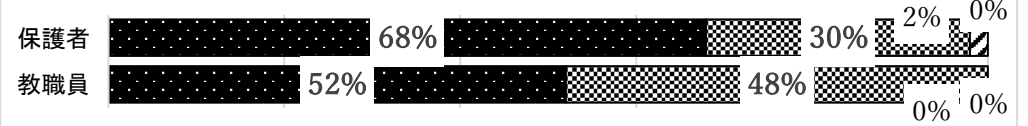
【問9：学校は、学年だより、学校だより、各種たより、学校ホームページ、メール配信などで、学校からの情報を分かりやすく伝えている。】

平均得点	保護者	3.7点
	教職員	3.8点



【問10：学校は、保護者が授業や学校生活の様子を参観する機会を適切に設けたり、地域とのつながりを大切に活動を行ったりしている。】

平均得点	保護者	3.7点
	教職員	3.5点



全ての項目において、保護者の皆様から「十分に満足できる状況」であるというご評価をいただくことができました。自由記述の中に、「学校と家庭が協力し合っている関係は、子どもがよりよく成長するには理想的な環境だと思います。」というご意見がありました。本当にその通りだと思います。学校と家庭が同じ方向を向いて、子どもたちの成長をサポートできるよう、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。一方で、以下のようなご意見もいただきました。

- ① 週末や週始め、学期末や新学期に持ち物が集中しすぎている。
- ② 子どもの自己肯定感が低い様子がある。自己肯定感の意味・大切さを学んでほしい。
- ③ 一人一人の個性を尊重して指導してもらいたい。
- ④ 正門付近や扇川公園付近に止めている保護者の車に危険を感じる。

① について

持ち物が多くなる学期始めや学期末は、荷物が多くならないよう計画的に持ってきたり、持ち帰ったりしていきます。週始めは月曜に必要なもののみ持ってきたり、必要がなくなった時点で週末を待たず持ち帰ったりすることで荷物が多くなりすぎないように配慮していきます。

②・③について

学校は子どもを理解し大切にしようとして努めていますが、問5の児童の結果にもあるように、「大切にしてもらえていない」、「まだ理解してもらえていない」と感じているお子さんがいるのも事実です。誰もが「大切にされている」「理解しようとしてくれている」と感じられるよう、子どもたちの自己肯定感を育てていくよう、教職員一同、努力していきます。

④について

正門付近や扇川公園付近に止めている車によって死角が生まれ、子どもたちが安全に道路を通行できない様子が見られます。子どもたちが安全に生活できるよう、保護者の皆様のご協力をお願いします。

上記の他にも、示唆の富んだご意見を多数いただきました。来年度以降の学校運営に生かしてまいります。ご回答いただいた皆様、アンケートへのご協力、ありがとうございました。